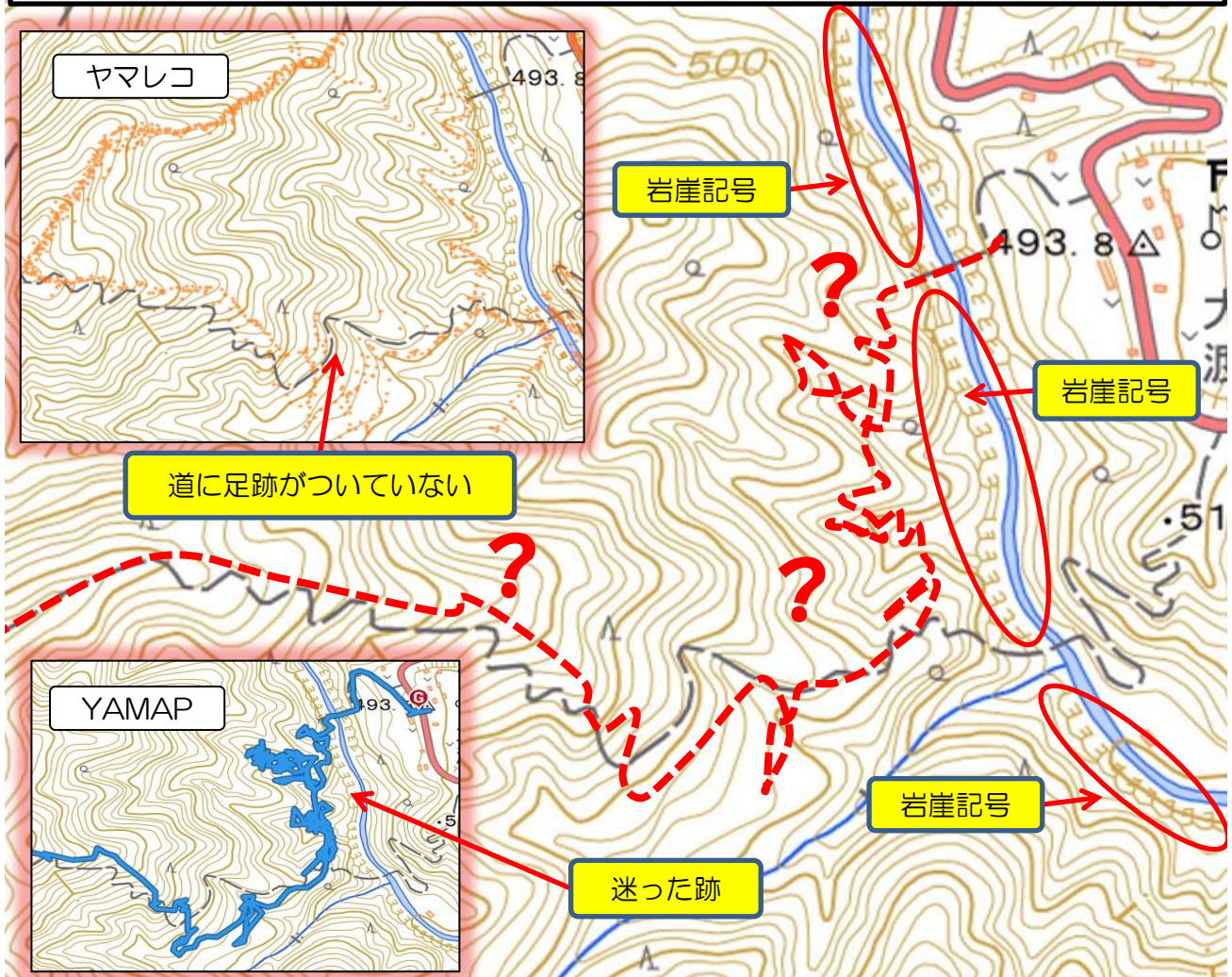


## 大室山道迷い(2021年6月)

国土地理院の地形図に道が記載されていたので、信じて歩くも道が分からず迷いに迷って下山した。



## 解説

下山時短を図り、Yamap赤線ではない道を歩きました。結局道に迷い、2回滑落の挙句、蛭にめちゃくちゃにやられています。もう二度と変なことをしない。(HP参照)

国土地理院の地形図の道が誤っていて、その道を信じて進んでしまい道迷いに発展した事例。  
YAMAPではすべての道が記載されているわけではないため、地形図の道が誤っているかどうかYAMAPでは判断できない。

一方、ヤマレコは足跡機能でルート表示をしているため、地形図の道の誤りが分かる。このため私は、初めて行くルートではヤマレコでコース確認をしている。

ヤマレコで足跡が帯(ルート)になっていない場合は、地形図の道を信じてはいけない。この事例では、山を無理やり斜面を下っても川の岸には「岩崖」の地図記号があるため容易に対岸に渡ることができない。

下山後の早い段階で、地形図の道が不明瞭の場合は、道が存在しないことを疑い、電波が通じればヤマレコで道の有無を調べることをお勧めする。